

授業科目	地域プロジェクト					実務家教員担当科目	-							
単位	1	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期							
担当教員	高橋 幸夫													
授業概要	<p>本授業は英語学科と観光文化学科の合同授業である。</p> <p>北九州は国連大学が認定する RCE(Regional Centre of Expertise on ESD)であり、公害を克服し、環境未来都市として様々な取り組みが産官学のみならず、草の根レベルでも行われている。この授業では、北九州の環境問題、地域の課題について学ぶとともに、地域発展のための事業提案までのプロセスを学修・体験する。</p> <p>具体的な授業内容として、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 北九州の地域の課題や ESD、SDGs について学ぶ</li> <li>2. 地域の課題について調査する</li> <li>3. 地域の課題を解決するためのプロジェクトを企画し実施する</li> </ol> <p>なお、社会状況、外部行使スケジュール都合などにより授業テーマ・内容・方法・スケジュールなど変更することもある。</p>													
	授業形態 対面授業（一部オンデマンド）			授業方法	PBL（課題解決型学習）・ディスカッション・グループワーク・プレゼンテーション									
学生が達成すべき行動目標														
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 北九州の地域の課題や ESD、SDGs を理解することができる。</li> <li>2. 地域で自らが取り組むことができる課題を発見することができる。</li> <li>3. 地域の課題を解決するためのプロジェクトを企画することができる。</li> </ol>													
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 北九州の地域の課題や ESD、SDGs を説明することができる。</li> <li>2. 地域で自らが取り組むことができる課題について説明することができる。</li> <li>3. 地域の課題を解決するためのプロジェクトを企画し実施することができる。</li> </ol>													
評価方法・評価割合														
評価方法			評価割合（数値）			備考								
試験			0											
小テスト			0											
レポート			40%											
発表（口頭、プレゼンテーション）			50%											
レポート外の提出物			0											
その他			10%			グループワーク等への参加の度合い								
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング														
DP1	○	DP2	-	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	EN10602J			
学習課題（予習・復習）									1回の目安時間（時間）					
授業で指示されたプレゼンテーションの準備やレポートの作成を行う。									1					
授業計画														
第1回	授業ガイダンス													
第2回	環境ミュージアム訪問（オンデマンド）													
第3回	SDGs を知る(2030 SDGs)（外部講師）													

第 4 回	ESD を知る(ジオかるた) (外部講師)
第 5 回	地域の課題についての講義
第 6 回	地域の課題についての調査
第 7 回	調査結果についての発表
第 8 回	企画立案 (1) プロジェクトの計画
第 9 回	企画立案 (2) プロジェクトの案の発表準備
第 10 回	グループ発表
第 11 回	企画の準備 (1) 発表の振り返り
第 12 回	企画の準備 (2) プロジェクト案の修正
第 13 回	企画の準備 (3) (オンデマンド) 実施のためのリハーサル 各グループに資料を配布、熟読してもらい企画手順の理解を促す。
第 14 回	企画の実施
第 15 回	企画の振り返り
テキスト	授業資料 (プリント) などを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	その都度授業内で紹介・解説する。
課題に対するフィードバックの方法	課題に対するフィードバックは、講義やグループワーク等の際に口頭で行なったり、振り返りシートにコメントを記入して返却するなどして実施する。
学生へのメッセージ・コメント	この授業では、行政や地域の団体や個人と連携して、地域の課題を解決するためのプロジェクトを実際にを行いながら、学びを深めていくものです。教育、国際交流、地域貢献、観光開発実務やマーケティング実務などを学びたいと考えている学生の履修を望みます。  なお、グループワーク、プレゼンテーションの方法については、各授業内で指示します。